

学年 第5学年 教科等 算数科						
単元・内容 「速さ」						
検索キーワード 単位量あたりの大きさや速さを求める						
○ ねらい ・道のりと時間を使って、速さの表し方（1秒あたりに進む道のり）を理解することができる。						
○ 問題 ・180mを8秒で走るカンガルーの1秒間あたりの道のりを求める。						
○ 手立て 視覚化（分かっていることを表に整理する） 1 表を使って、道のりと時間をそれぞれ記入させる。 2 それぞれ何でわれば1秒間あたりの道のりが求められるのか考えさせる。 3 1△△あたりの□□の量という言葉に着目して、△△でわるということを理解させる。 ポイント！ ・除数及び被除数に同じ数で割っても、商は変わらないという性質をおさえる。 <table><tr><td>時間</td><td>8秒</td><td>1秒</td></tr><tr><td>道のり</td><td>180m</td><td>m</td></tr></table> ÷8 ÷8	時間	8秒	1秒	道のり	180m	m
時間	8秒	1秒				
道のり	180m	m				
180mを8でわると、1秒間あたりの道のりを求めることができます。だから、式は180÷8になります。 						
適応化（学習したことを身近な問題に置き換えて解く） 4 単位量あたりの大きさについての適応問題を解かせる。 ・100m走の世界記録から1秒間あたりの道のりを求める。 ・自分の50m走の記録から1秒間あたりの道のりを求める。 100m走の世界記録は、100m÷9.58秒をすると1秒間あたりの道のりが約10.4mだと分かりました。 自分の50m走の記録は、50m÷9.5秒をすると1秒間あたりの道のりが約5.3mだと分かりました。 自分の1秒間あたりの道のりの2倍ぐらいで、とても速いと思いました。 ポイント！ ・生活に身近なことや児童が興味をもちそうなことを問題にす 						
○ 児童の変容 ・単位量あたり大きさの考え方をういて、速さを求めたり比べたりすることができた。						